



真岡市立東沼小学校

**S Lの走るまち  
拠点施設整備事業は**

入江議員 S Lの走るまち拠点整備事業の内容及び進捗状況と今後のスケジュールを伺いたい。

また、この整備事業によって、真岡駅の魅力が一層アップするの  
で、相乗効果を上げるためにも駅  
周辺の自治会や商店会などと協働  
して、にぎわいを創出するための  
新たな取組みを推進し、地域活性  
化を図ってはどうか。

だけの学校は、十二校であり全体の六割を超えている。学校規模適正化の今後の方向性については、国が示す標準学級数や通学距離が本市にも当てはまるのか、また、校舎の耐震工事の時期や耐用年数等も含め検討作業を重ねている。

教育委員会として、将来的には国が示す学級編成となるよう全学的に通学区域を見直していく必要があるものの、当面は複式学級及び複式学級の編成が懸念される学校の状況を解消していくことが最優先課題であると考えている。

今後、教育委員会で検討を加え、これら課題の解消に向け、今年度中には真岡市立小中学校学区審議会に諮問したい。

ジを広め、新たな観光拠点の一つとして、交流人口の増加を図り、また、周辺地域の活性化のため、地元自治会及び真岡駅前通り商店会からもアイデアを募集したい。

**真岡市物産会館整備と  
久保邸の活用策は**

入江議員 真岡市物産会館整備基本構想は現在策定中で、八月には久保邸譲渡の申し入れがあった。

周辺の観光資源との連携強化のため、物産会館及び久保邸の整備計画を考えるべきである。新たな物産会館を建設するよりも、久保邸に物産会館の機能を持たせ、一体的に整備した方が周辺施設との回遊性や行政投資の経済性などの観点からもよいのではないか。

市長 真岡市物産会館は、東日本大震災により解体し、現在は基本構想を策定中である。また、久保邸は譲渡の相談があったため、歴史的な建造物として利活用を検討することとした。久保邸の利活用の検討には、新たな物産会館との連携が必要なことから、一体的な整備計画策定の推進のため、庁内

プロジェクトチームを立上げ、整備計画の検討を進めている。

久保邸は歴史的観光資源となる施設でもあるため、金鈴荘や真岡木綿会館、古き時代の面影を残す門前地区、さらには新たな物産会館と連携し、一体的に整備することによって、市外の人には「真岡ブランド」の訪れたい「まち」として、また、市民には、市への愛着誇りを醸成する場所になるよう利活用の検討を進めたい。



歴史的建造物の久保邸(荒町地内)

**市庁舎の停電時対策として  
非常用発電機の設置を**

七海議員 本市では、災害等で庁

舎が停電した場合、UPS無停電電源装置が作動し、直ちに手動でコンピューター等の電源を落とすことにより、データやシステムの被害を最小限に抑えることができる状況であると聞いている。しかし、本来であればシステムを停止させるだけでなく、停電時に自動的に非常用電源に切り替わり、引き続きシステム等を稼働できる自家発電機が整備されている必要があると考えるがいかがか。

総務部長 震災前には、庁舎用としての非常用発電機は備えていなかったが、震災後、市庁舎全体の電話交換機用電源として九百ワット供給可能な発電機二台を購入した。また、七月から九月にかけて東京電力株式会社による計画停電が予定されていたので、市民の皆様が必要とする住民情報、税情報、戸籍関係の受付及び証明書発行事務に対応できるよう発電機二台を二カ月間リースしたところである。

今後は、住民情報、税情報、介護及び戸籍関係の受付や証明書発行を行うとともに、市のホームページを更新して災害情報を随時発信することができるよう、五・五キロワット程度の発電機二台を庁舎用として購入する予定である。